

令和2年度
草津市のまちづくりについての
市民意識調査結果報告書

草津市

目 次

1. 調査概要	1
2. 調査結果	2
(1) 回答者属性	2
①性別	
②年齢	
③居住年数	
④転入歴	
⑤居住地区	
(2) 基本方針別にみる満足度評価	5
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
⑥第6次草津市総合計画第1期基本計画において新たに設定する基本方針	
(3) 基本方針別にみる重要度評価	11
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
⑥第6次草津市総合計画第1期基本計画において新たに設定する基本方針	
(4) 基本方針別にみる満足度と重要度	17
①「人」が輝くまちをつくるための基本方針	
②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針	
③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針	
④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針	
⑤「行財政マネジメント」のための基本方針	
(5) まちの住み心地や日常の生活行動など	22
①まちの住み心地など	
②日常の生活行動など	
③市民であることの誇りや定住意向	

1. 調査概要

【調査目的】

平成 29 年度から開始した第 5 次草津市総合計画第 3 期基本計画における、市の取組に対する市民意識を確認し、市政運営の参考とすることを目的とする。

【調査対象者】

市民 3,000 人

【選定方法】

住民基本台帳の 18 歳以上の者から、年齢、居住地域の 2 段階による層化無作為抽出とした。

【抽出条件】

抽出基準日：令和 2 年 11 月 1 日（日）

【調査方法】

調査は無記名とし、令和 2 年 12 月 4 日（金）から 12 月 21（月）までを調査期間として、郵送およびインターネットにより実施した。

【回収状況】

有効回答数 1,052 件、有効回答率 35.1%を得た。有効回答のうち、紙の調査票による回答が 699 件で 66.4%、インターネットによる回答が 353 件で 33.6%であった。

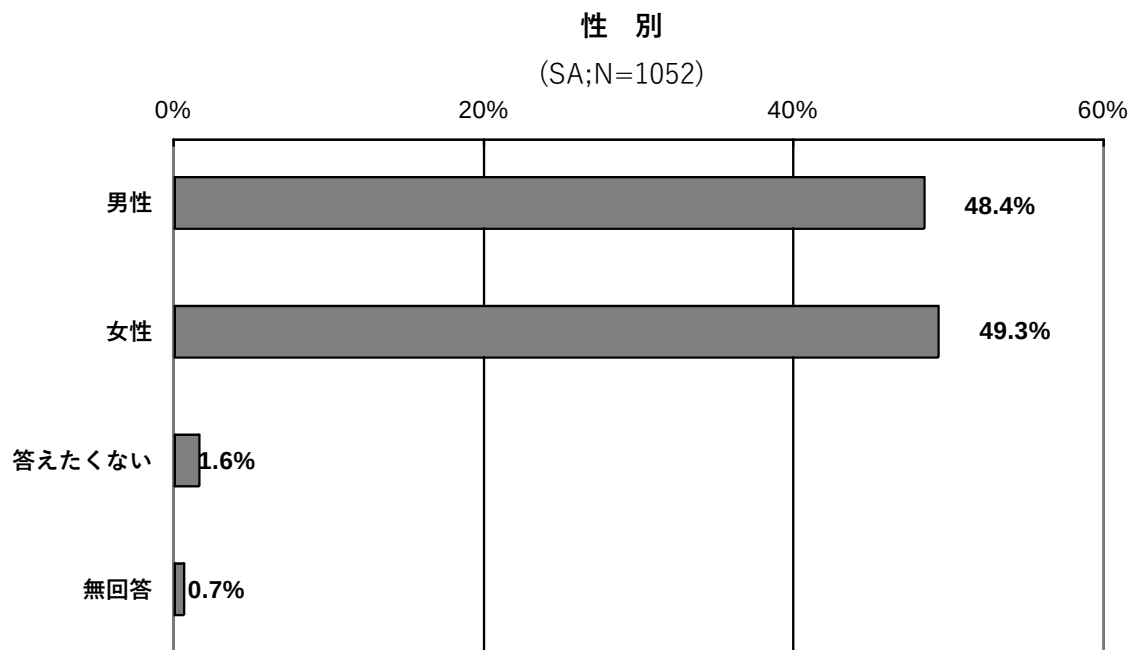
調査結果の表記について：百分率については、調査の有効回答（N）を基数として算出している。小数点第 2 位以下を四捨五入しているため、それぞれの数字の合計が必ずしも 100.0%にならない。また、グラフ内に示した記号のうち SA は単数回答、MA は複数回答を示す。

2. 調査結果

(1) 回答者属性

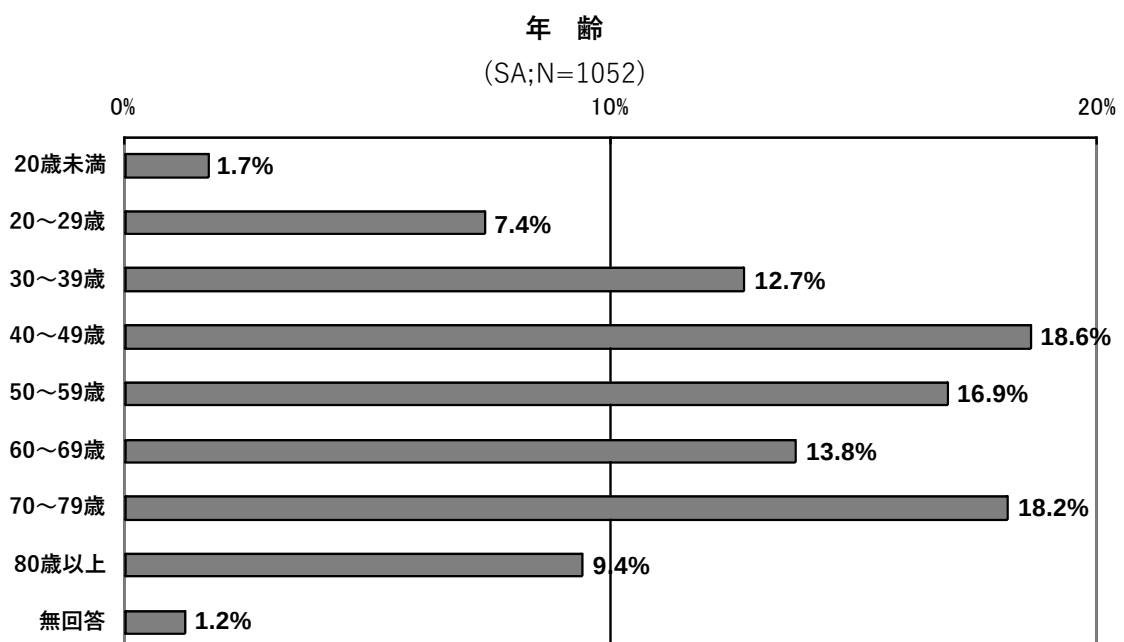
①性別

「男性」が48.4%、「女性」が49.3%、「答えたくない」が1.6%となっています。



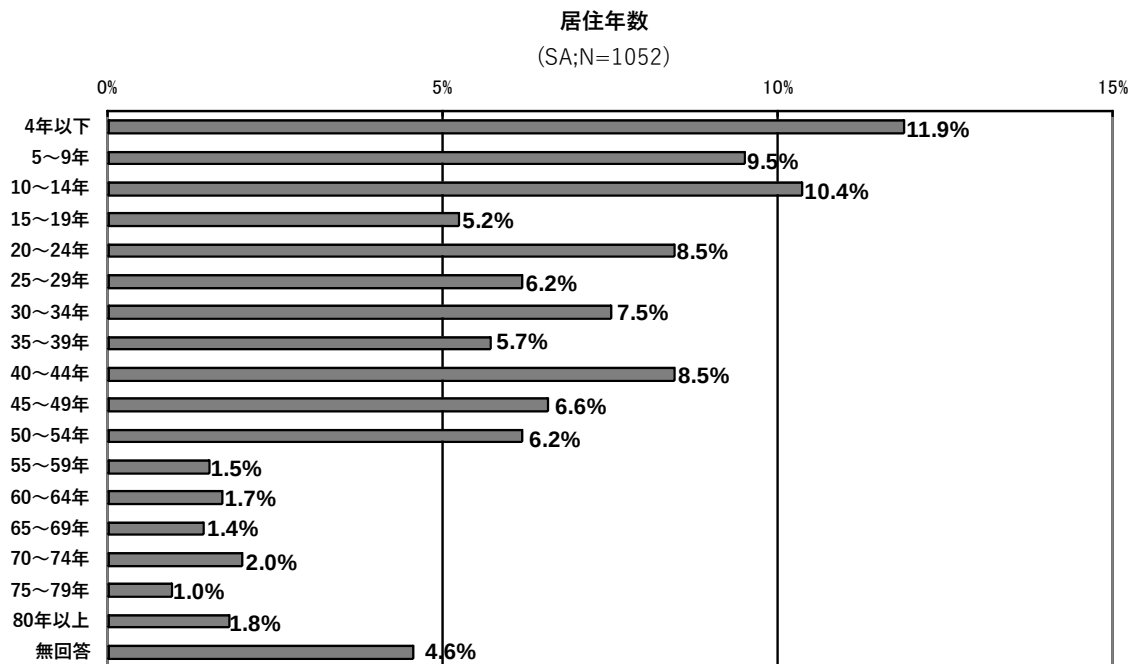
②年齢

「40～49歳」が最も多く18.6%、次いで「70～79歳」が18.2%、「50～59歳」が16.9%などとなっています。



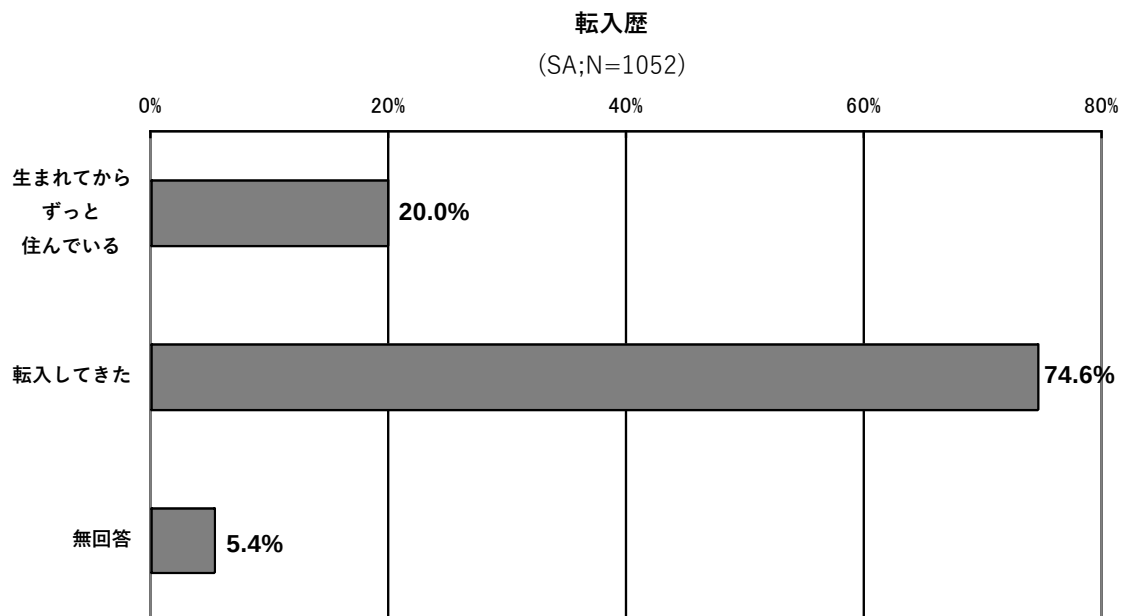
③居住年数

「4年以下」が最も多く11.9%、次いで「10～14年」が10.4%、「5～9年」が9.5%、「20～24年」と「40～44年」がいずれも8.5%などとなっています。



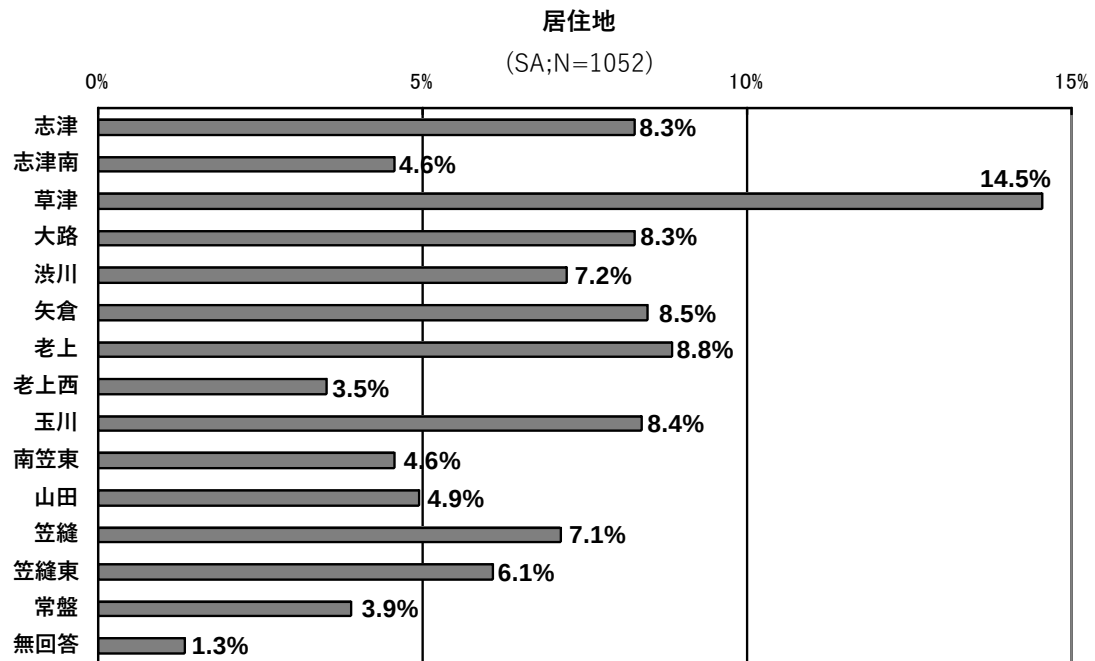
④転入歴

「生まれてからずっと住んでいる」が20.0%、「転入してきた」が74.6%となっています。



⑤居住地区

「草津」が最も多く 14.5%、次いで「老上」が 8.8%、「矢倉」が 8.5%、「玉川」が 8.4%などとなっています。



(2) 基本方針別にみる満足度評価

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「満足」は「人権の尊重」が最も多く 12.0%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 10.6%などとなっています。

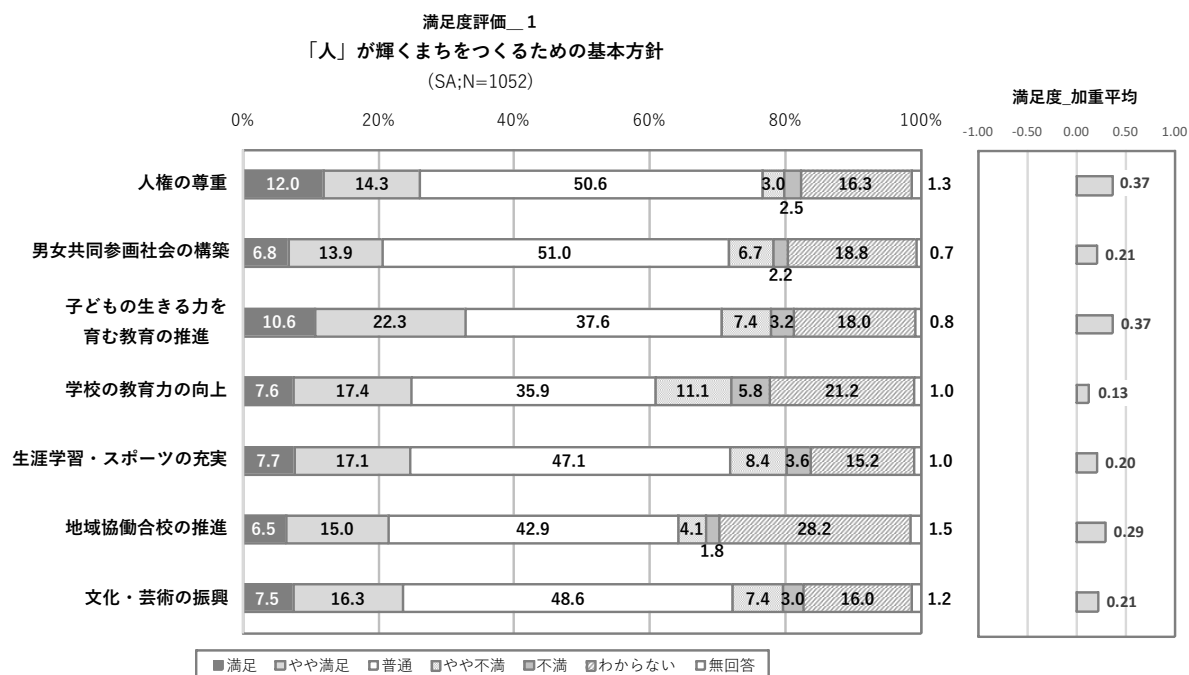
「やや満足」は「子どもの生きる力を育む教育の推進」が最も多く 22.3%、次いで「学校の教育力の向上」が 17.4%などとなっています。

「普通」は「男女共同参画社会の構築」が最も多く 51.0%、次いで「人権の尊重」が 50.6%などとなっています。

「やや不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 11.1%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が 8.4%などとなっています。

「不満」は「学校の教育力の向上」が最も多く 5.8%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が 3.6%などとなっています。

「わからない」は「地域協働校の推進」が最も多く 28.2%、次いで「学校の教育力の向上」が 21.2%などとなっています。



加重平均について：「満足 (2)」「やや満足 (1)」「普通 (0)」「やや不満 (-1)」「不満 (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「満足」は「就学前教育・保育の充実」が最も多く 10.3%、次いで、「いきいきとした高齢社会の実現」が 9.2%などとなっています。

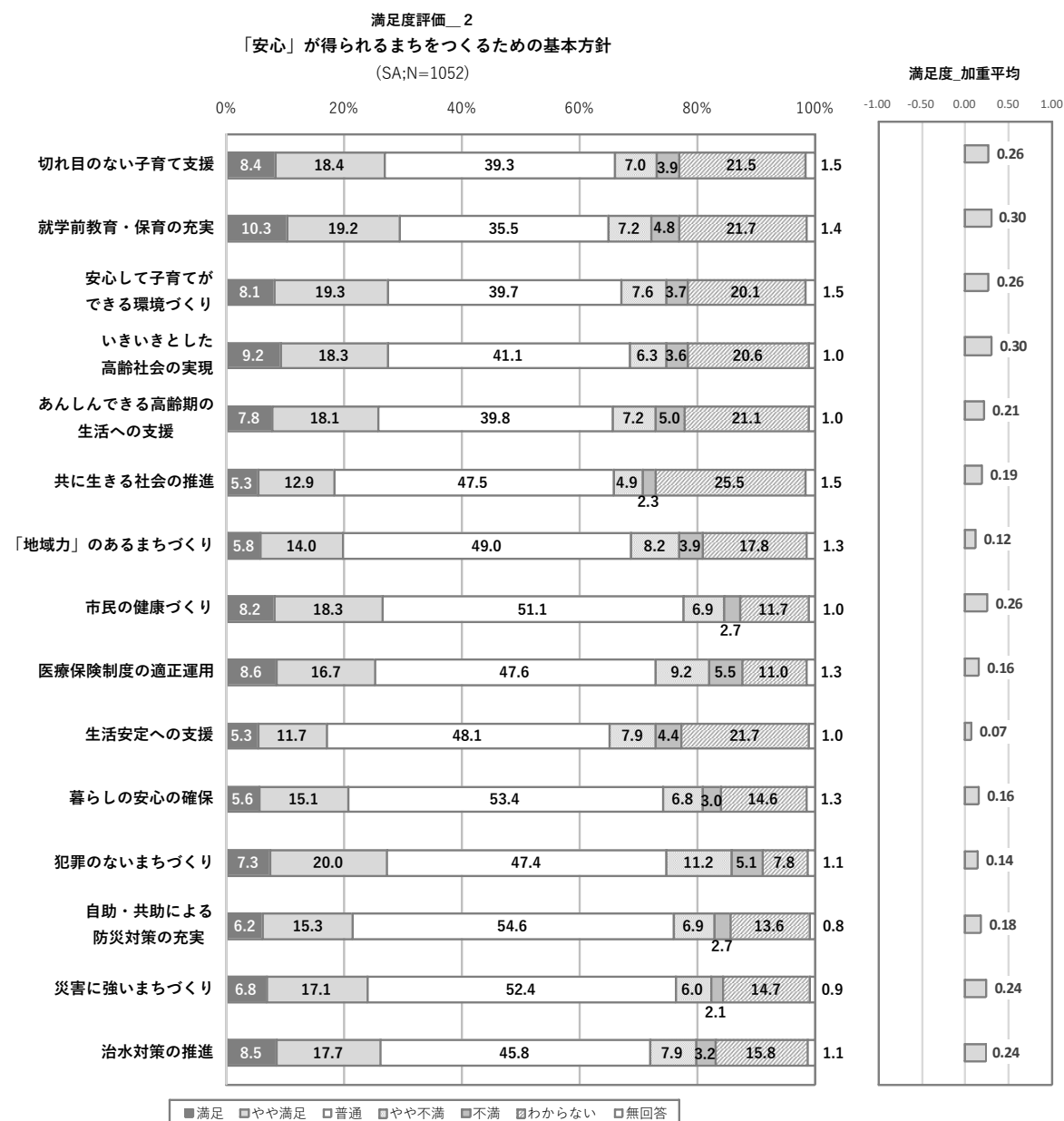
「やや満足」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 20.0%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 19.3%などとなっています。

「普通」は「自助・共助による防災対策の充実」が最も多く 54.6%、次いで「暮らしの安心の確保」が 53.4%などとなっています。

「やや不満」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 11.2%、次いで「医療保険制度の適正運用」が 9.2%などとなっています。

「不満」は「医療保険制度の適正運用」が最も多く 5.5%、次いで「犯罪のないまちづくり」が 5.1%などとなっています。

「わからない」は「共に生きる社会の推進」が最も多く 25.5%、次いで「就学前教育・保育の充実」と「生活安定への支援」が 21.7%などとなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「満足」は「水の安定供給」が最も多く 19.5%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 15.9% などとなっています。

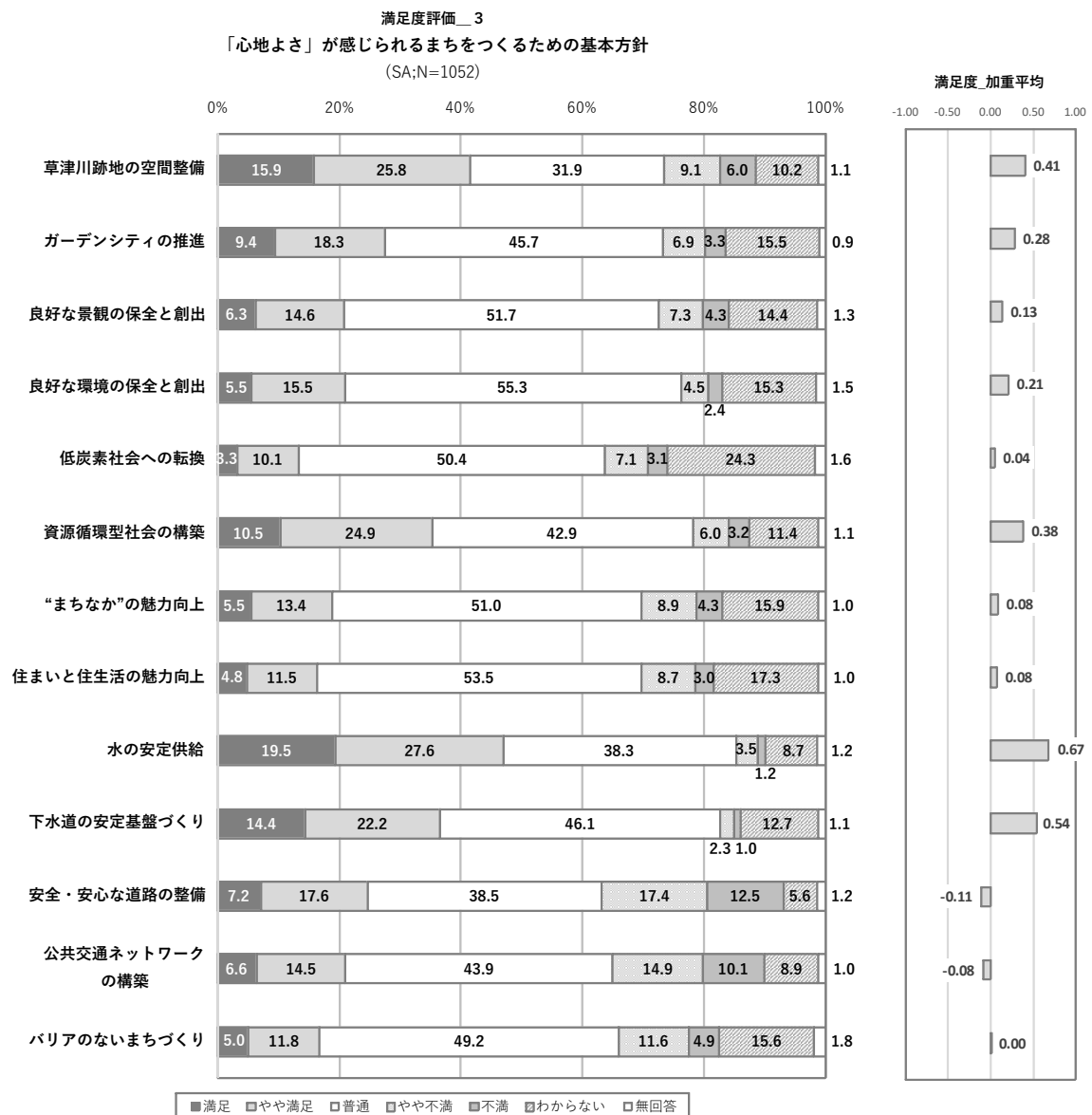
「やや満足」は「水の安定供給」が最も多く 27.6%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 25.8% などとなっています。

「普通」は「良好な環境の保全と創出」が最も多く 55.3%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 53.5% などとなっています。

「やや不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 17.4%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 14.9% などとなっています。

「不満」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 12.5%、次いで「公共交通ネットワークの構築」が 10.1% などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 24.3%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 17.3% などとなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「満足」は「中心市街地の活性化」が最も多く 6.5%、次いで「農業の振興」が 5.1%などとなっています。

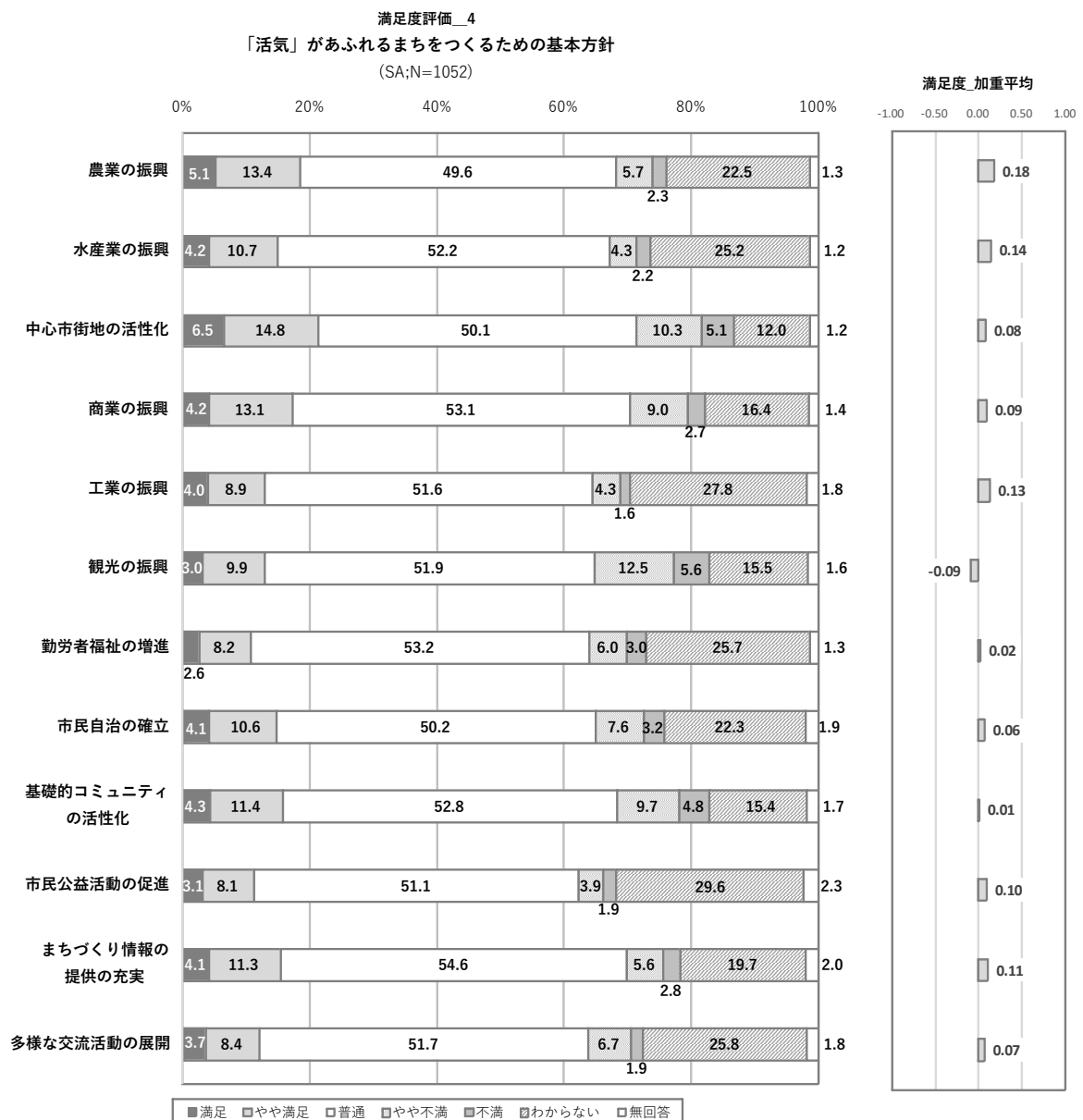
「やや満足」は「中心市街地の活性化」が最も多く 14.8%、次いで「農業の振興」が 13.4%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 54.6%、次いで「勤労者福祉の増進」が 53.2%などとなっています。

「やや不満」は「観光の振興」が最も多く 12.5%、次いで「中心市街地の活性化」が 10.3%などとなっています。

「不満」は「観光の振興」が最も多く 5.6%、次いで「中心市街地の活性化」が 5.1%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 29.6%、次いで「工業の振興」が 27.8%などとなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「満足」は「職員力の向上」が最も多く 5.5%などとなっています。

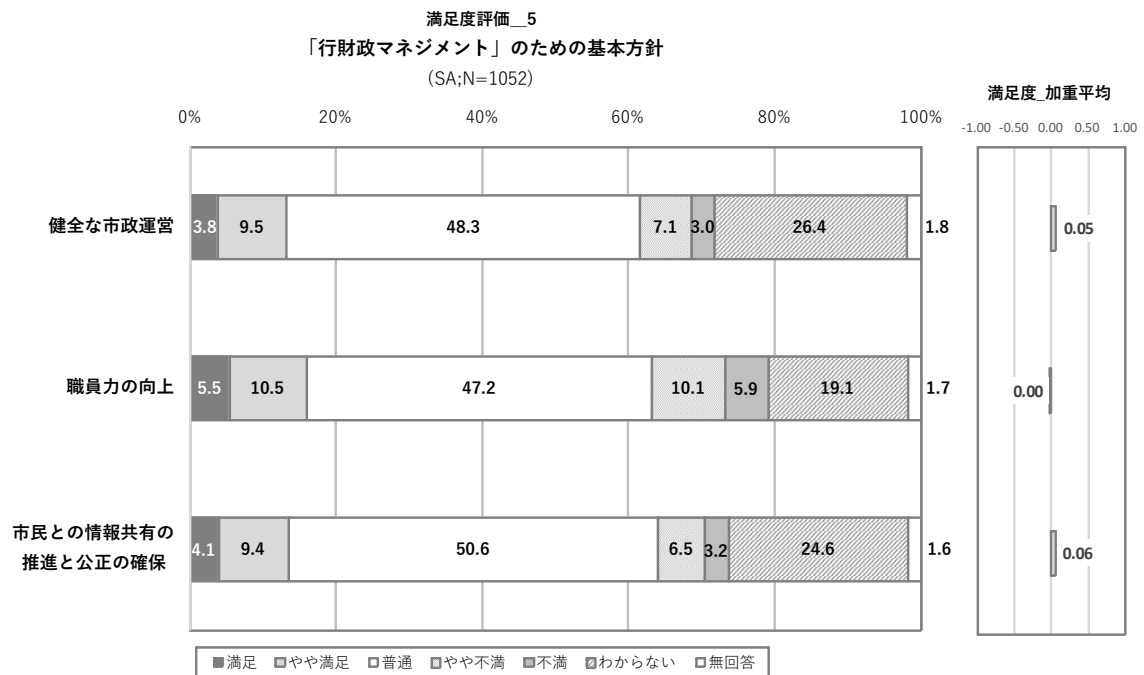
「やや満足」は「職員力の向上」が最も多く 10.5%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 50.6%などとなっています。

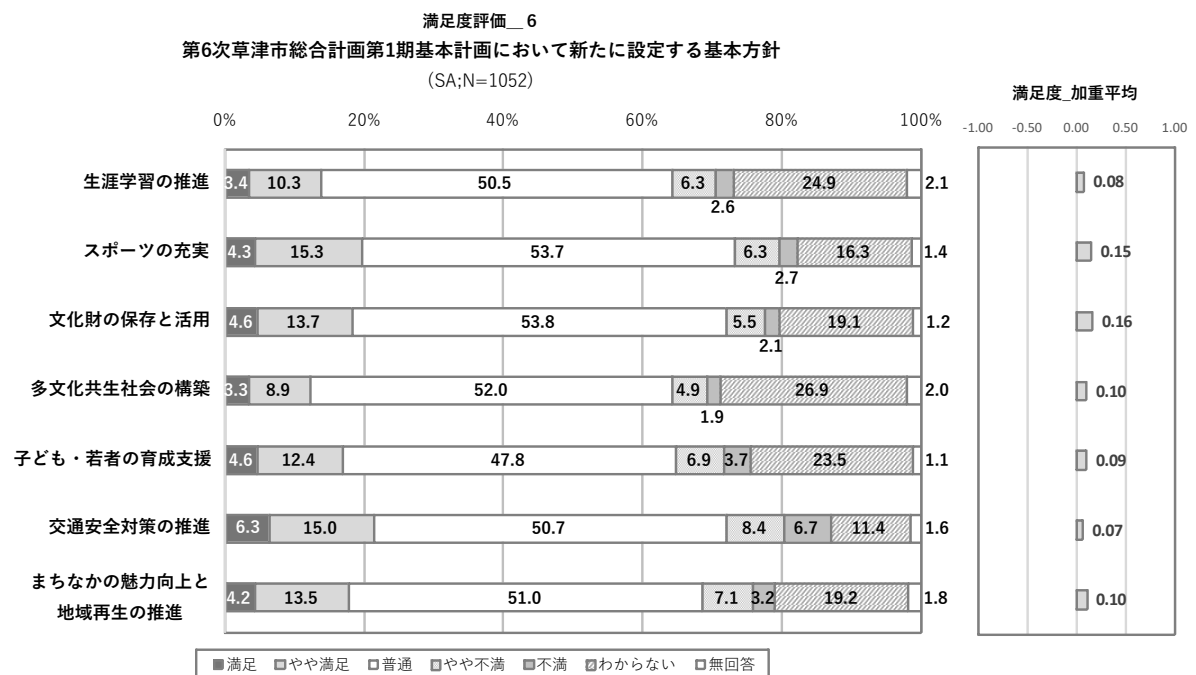
「やや不満」は「職員力の向上」が最も多く 10.1%などとなっています。

「不満」は「職員力の向上」が最も多く 5.9%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 26.4%などとなっています。



⑥第6次草津市総合計画第1期基本計画において新たに設定する基本方針



(3) 基本方針別にみる重要度評価

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「思う」は「学校の教育力の向上」が最も多く 45.8%、次いで「子どもの生きる力を育む教育の推進」が 43.1%などとなっています。

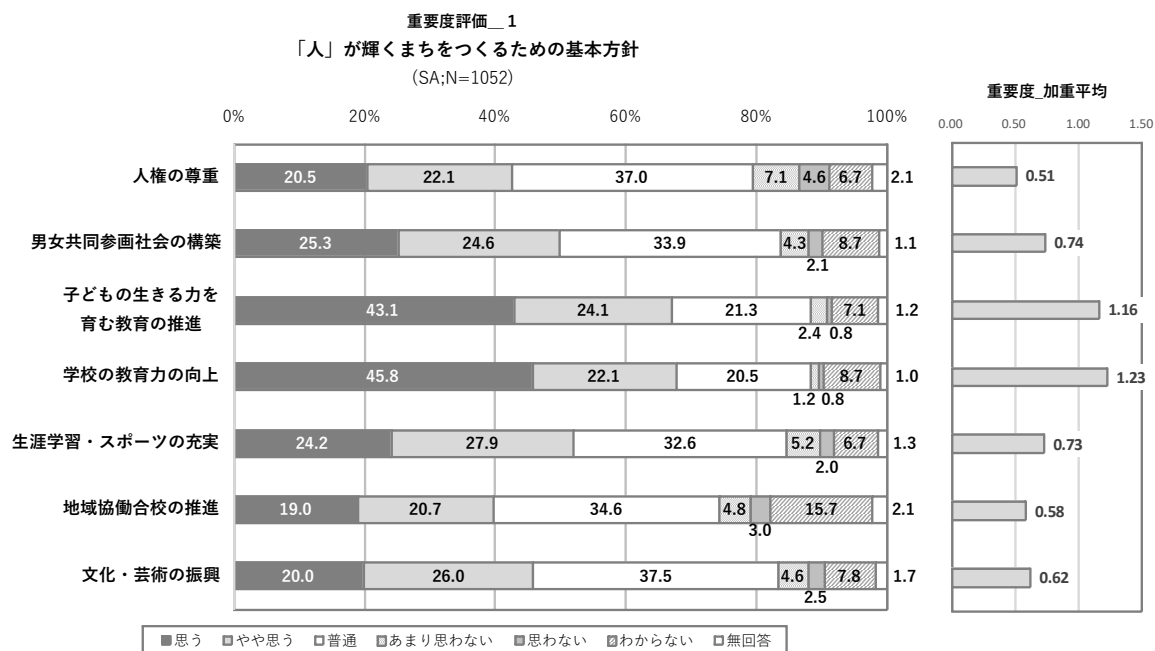
「やや思う」は「生涯学習・スポーツの充実」が最も多く 27.9%、次いで「文化・芸術の振興」が 26.0%などとなっています。

「普通」は「文化・芸術の振興」が最も多く 37.5%、次いで「人権の尊重」が 37.0%などとなっています。

「あまり思わない」は「人権の尊重」が最も多く 7.1%、次いで「生涯学習・スポーツの充実」が 5.2%などとなっています。

「思わない」は「人権の尊重」が最も多く 4.6%、次いで「地域協働校の推進」が 3.0%などとなっています。

「わからない」は「地域協働校の推進」が最も多く 15.7%、次いで「男女共同参画社会の構築」と「学校の教育力の向上」が 8.7%などとなっています。



加重平均について：「思う (2)」「やや思う (1)」「普通 (0)」「あまり思わない (-1)」「思わない (-2)」の加重評点を与えて平均点を求めたものである。

②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「思う」は「犯罪のないまちづくり」が最も多く 51.6%、次いで「安心して子育てができる環境づくり」が 47.5%などとなっています。

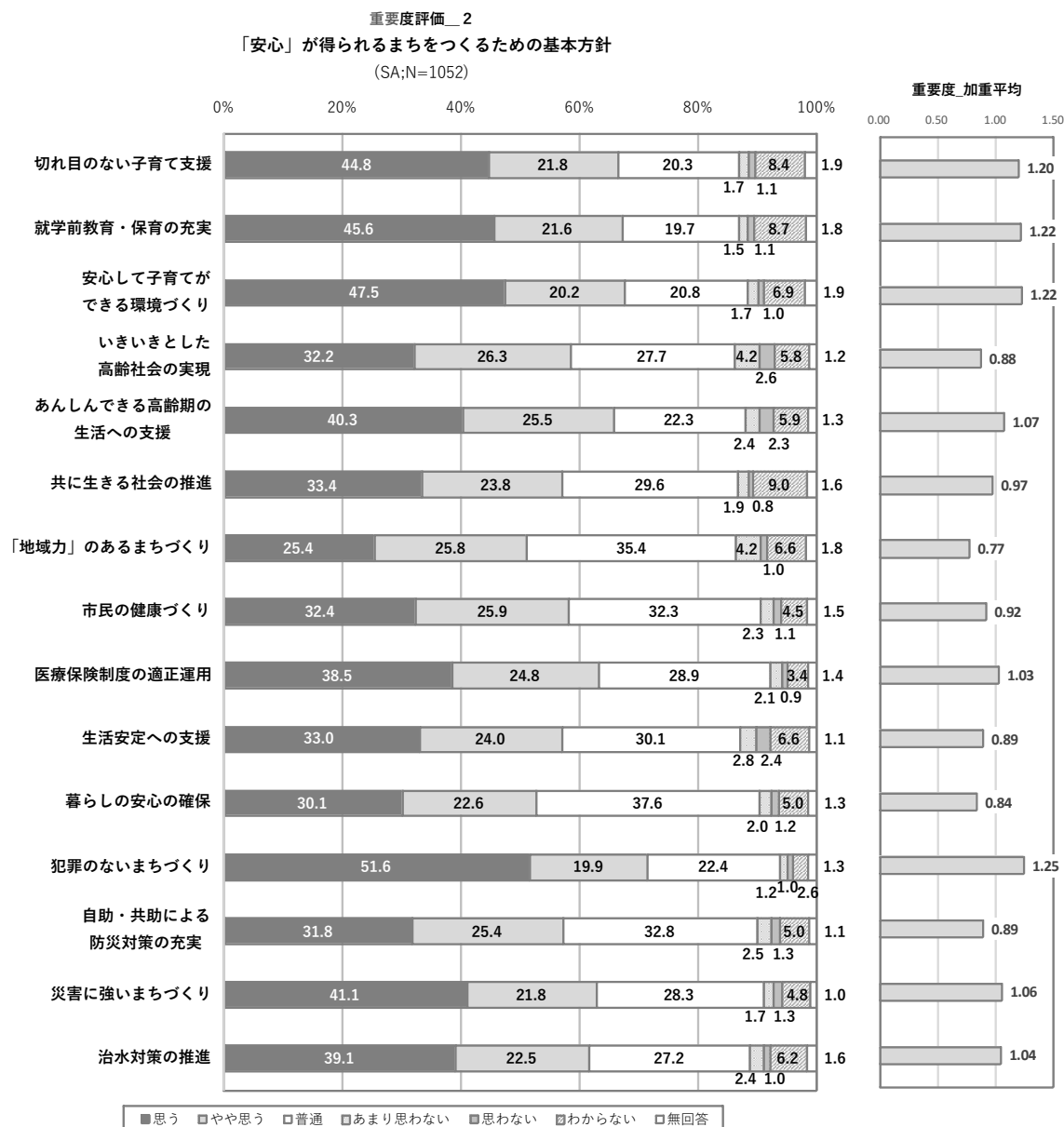
「やや思う」は「いきいきとした高齢社会の実現」が最も多く 26.3%、次いで「市民の健康づくり」が 25.9%などとなっています。

「普通」は「暮らしの安心の確保」が最も多く 37.6%、次いで「『地域力』のあるまちづくり」が 35.4%などとなっています。

「あまり思わない」は「いきいきとした高齢社会の実現」と「『地域力』のあるまちづくり」が最も多く 4.2%、次いで「生活安定への支援」が 2.8%などとなっています。

「思わない」は「いきいきとした高齢社会の実現」が最も多く 2.6%、次いで「生活安定への支援」が 2.4%などとなっています。

「わからない」は「共に生きる社会の推進」が最も多く 9.0%、次いで「就学前教育・保育の充実」が 8.7%などとなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 43.7%、次いで「水の安定供給」が 40.3% などとなっています。

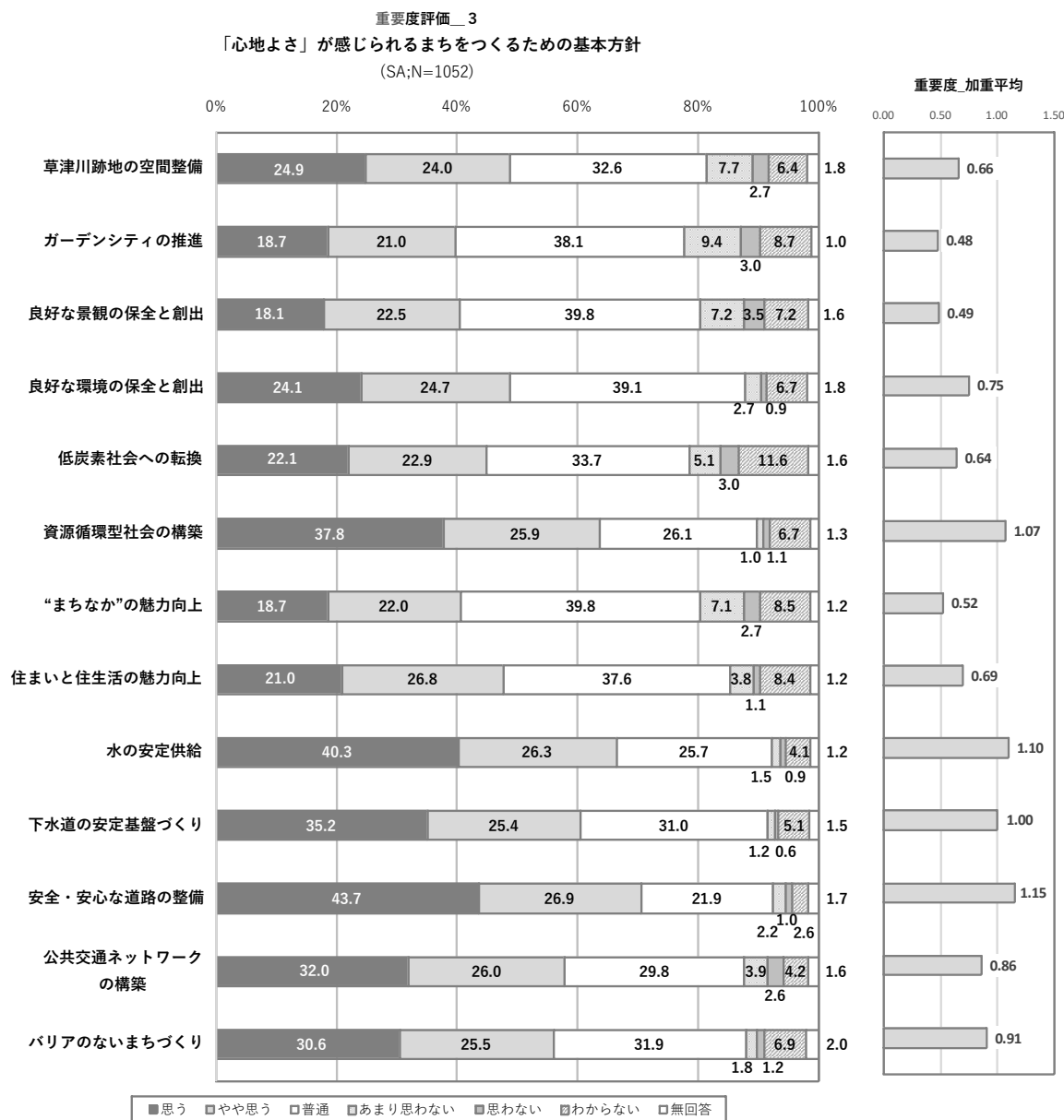
「やや思う」は「安全・安心な道路の整備」が最も多く 26.9%、次いで「住まいと住生活の魅力向上」が 26.8% などとなっています。

「普通」は「良好な景観の保全と創出」と「“まちなか”の魅力向上」が最も多く 39.8%、次いで「良好な環境の保全と創出」が 39.1% などとなっています。

「あまり思わない」は「ガーデンシティの推進」が最も多く 9.4%、次いで「草津川跡地の空間整備」が 7.7% などとなっています。

「思わない」は「良好な景観の保全と創出」が最も多く 3.5%、次いで「ガーデンシティの推進」と「低炭素社会への転換」が 3.0% などとなっています。

「わからない」は「低炭素社会への転換」が最も多く 11.6%、次いで「ガーデンシティの推進」が 8.7% などとなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「思う」は「商業の振興」が最も多く 23.2%、次いで「農業の振興」が 22.5%などとなっています。

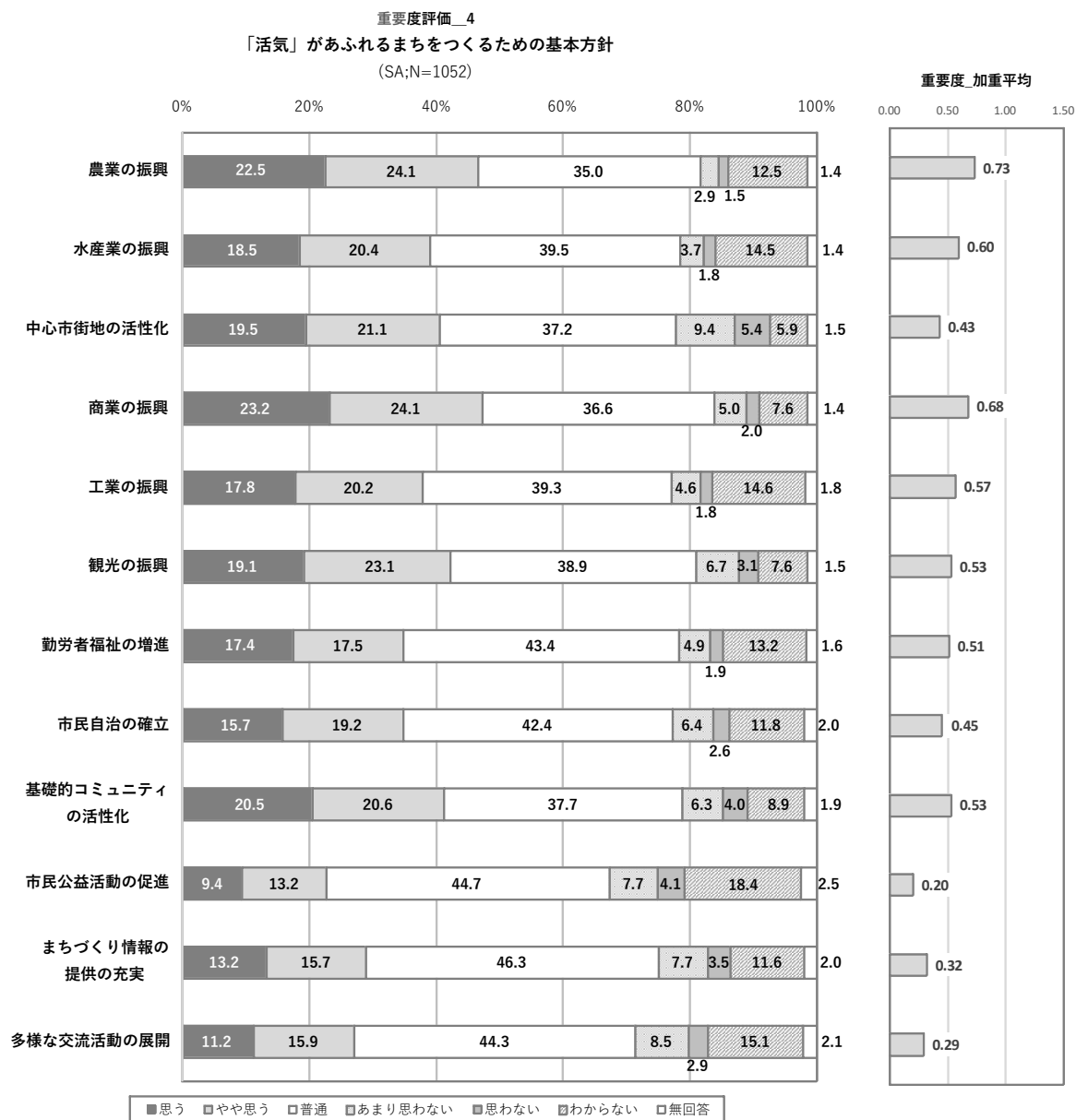
「やや思う」は「農業の振興」と「商業の振興」が最も多く 24.1%、次いで「観光の振興」が 23.1%などとなっています。

「普通」は「まちづくり情報の提供の充実」が最も多く 46.3%、次いで「市民公益活動の促進」が 44.7%などとなっています。

「あまり思わない」は「中心市街地の活性化」が最も多く 9.4%、次いで「多様な交流活動の展開」が 8.5%などとなっています。

「思わない」は「中心市街地の活性化」が最も多く 5.4%、次いで「市民公益活動の促進」が 4.1%などとなっています。

「わからない」は「市民公益活動の促進」が最も多く 18.4%、次いで「多様な交流活動の展開」が 15.1%などとなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

「思う」は「職員力の向上」が最も多く 27.9%などとなっています。

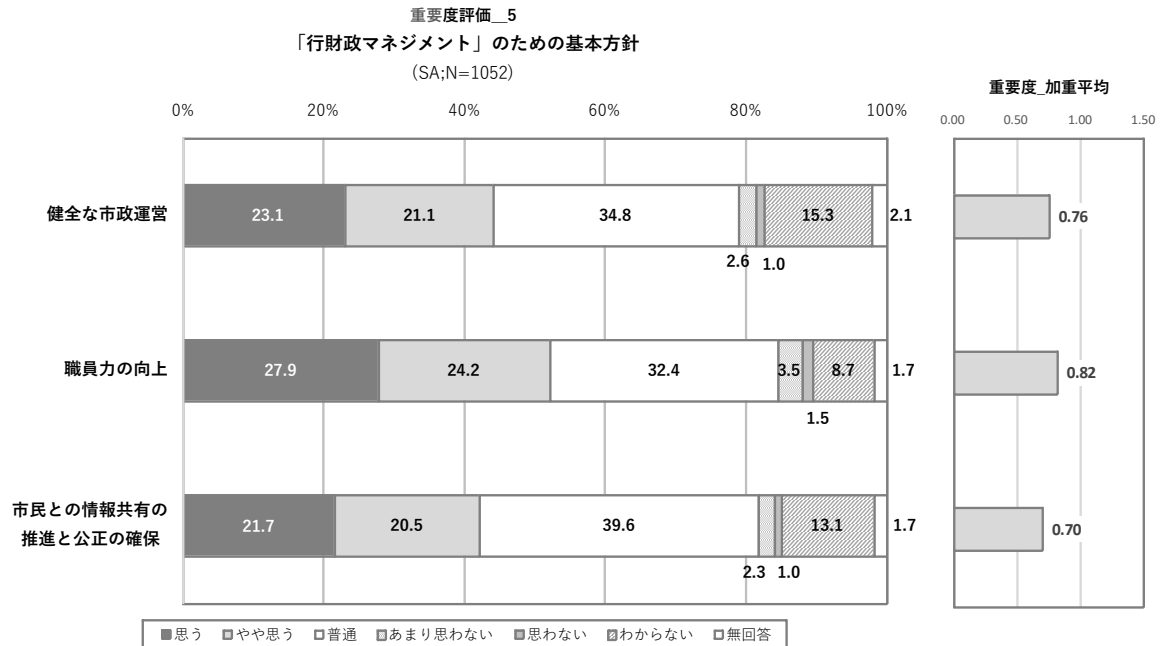
「やや思う」は「職員力の向上」が最も多く 24.2%などとなっています。

「普通」は「市民との情報共有の推進と公正の確保」が最も多く 39.6%などとなっています。

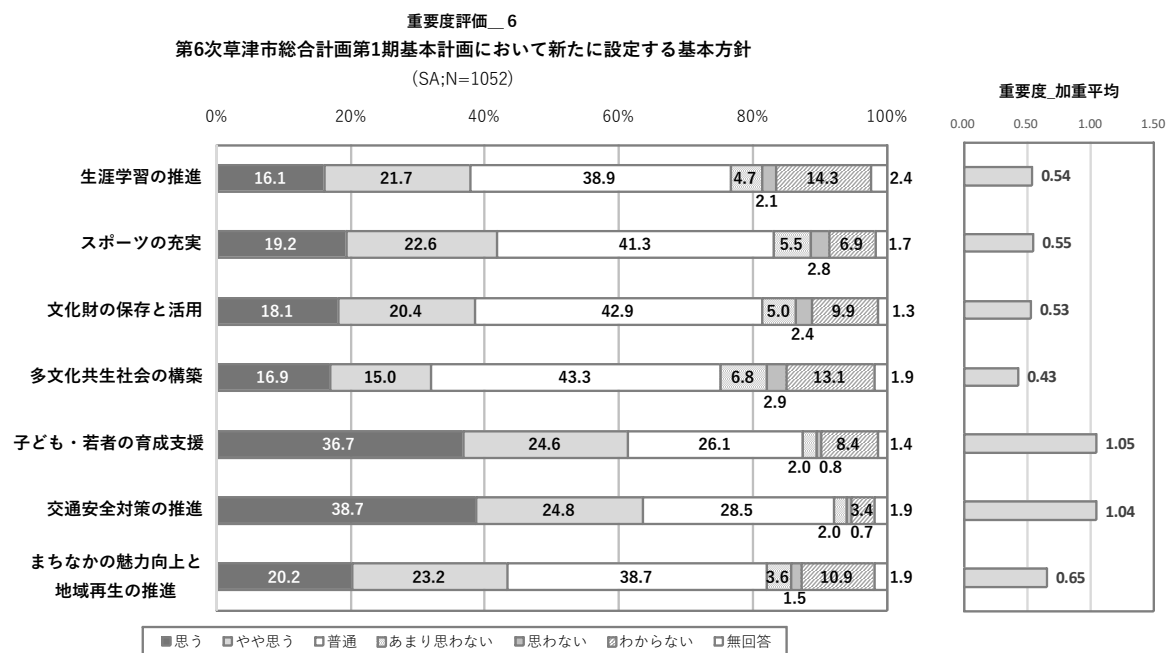
「あまり思わない」は「職員力の向上」が最も多く 3.5%などとなっています。

「思わない」は「職員力の向上」が最も多く 1.5%などとなっています。

「わからない」は「健全な市政運営」が最も多く 15.3%などとなっています。



⑥第6次草津市総合計画第1期基本計画において新たに設定する基本方針

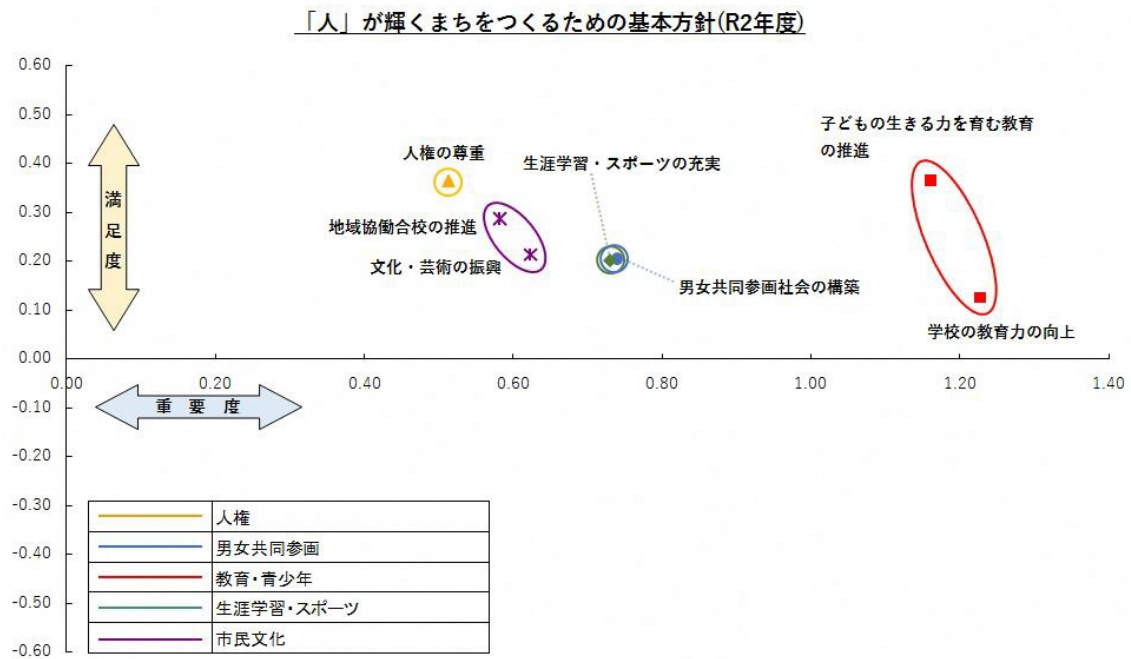


(4) 基本方針別にみる満足度と重要度

①「人」が輝くまちをつくるための基本方針

「人」が輝くまちをつくるための基本方針のうち、「学校の教育力の向上」の分野は他の分野と比較し、重要度が最も高いですが、満足度は最も低くなっています。

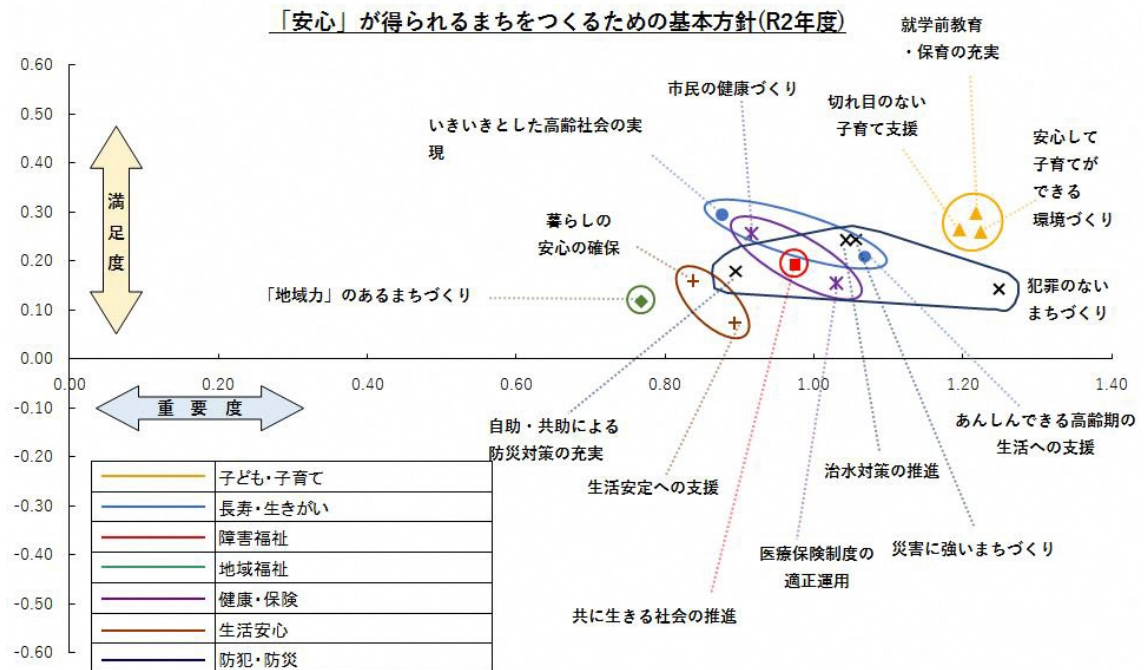
また「人権の尊重」の基本方針は、満足度が最も高く、重要度が低くなっています。



②「安心」が得られるまちをつくるための基本方針

「子ども・子育て」の分野では、他の分野と比較して満足度・重要度ともに高くなっているのに対し、「生活安心」の分野は満足度・重要度ともに低くなっています。

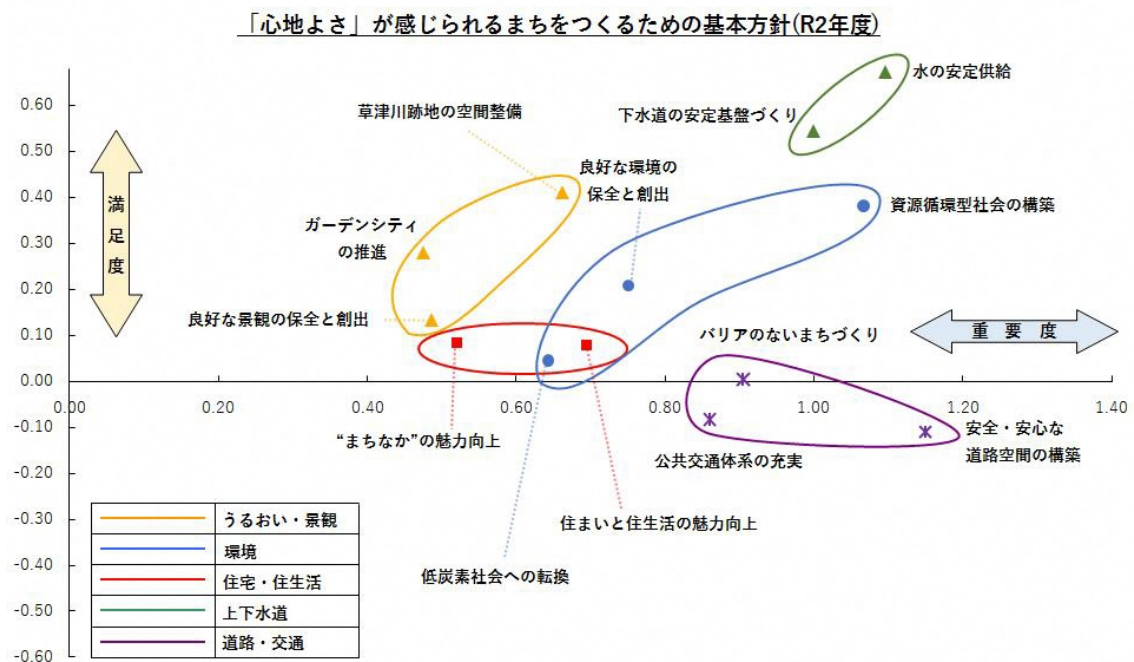
「防犯・防災」の分野は「犯罪のないまちづくり」で重要度がもっとも高くなっていますが、「自助・共助による防災対策の充実」の重要度が低くなっています。



③「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針

「心地よさ」が感じられるまちをつくるための基本方針のうち、「上下水道」の分野は満足度・重要度ともに他の分野よりもかなり高くなっています。

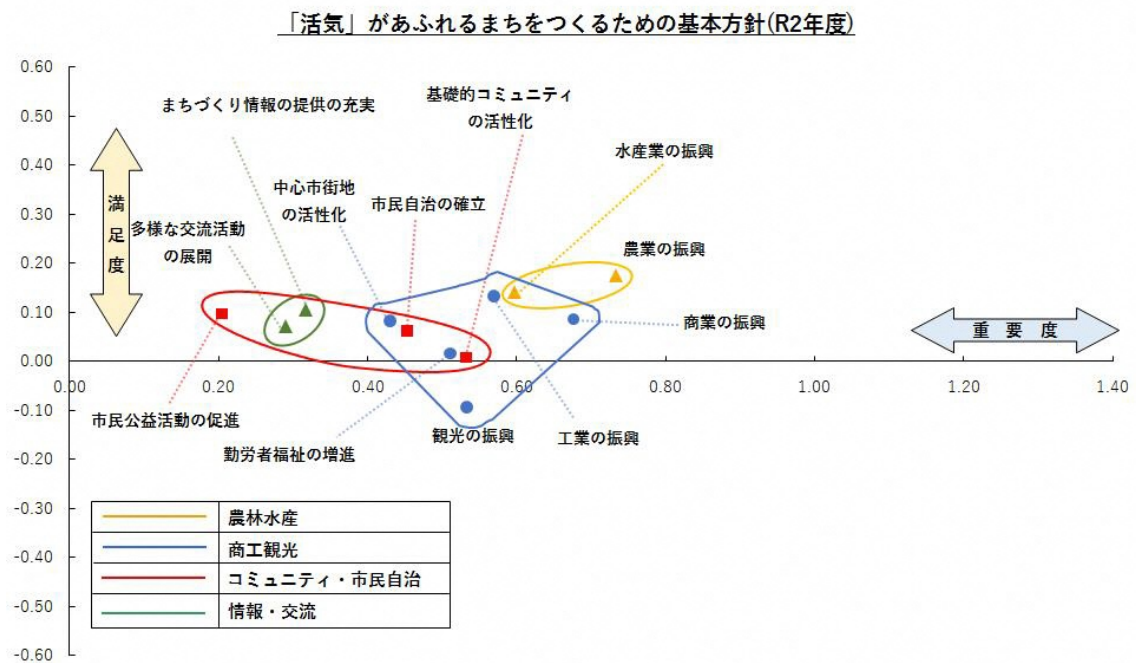
一方「道路・交通」の分野は、全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.16、重要度 0.77）と比較して満足度が低く、重要度が高くなっています。



④「活気」があふれるまちをつくるための基本方針

「活気」があふれるまちをつくるための基本方針は、どの分野においても全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.16、重要度 0.77）と比較して満足度、重要度ともに平均値を下回るものが多くなっています。

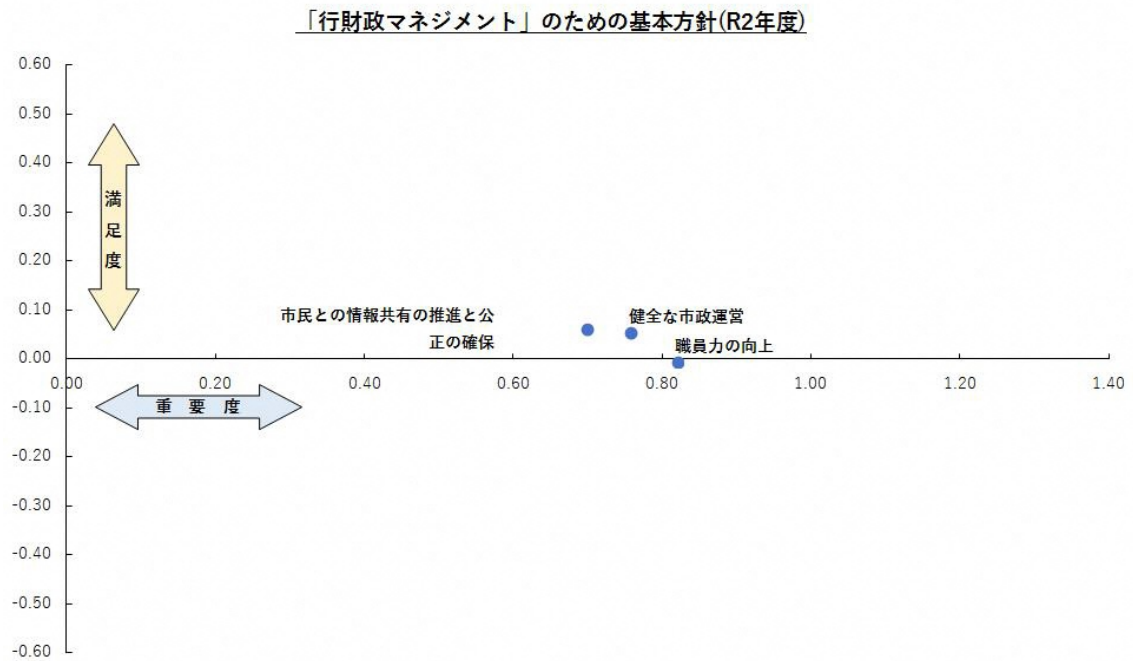
特に「商工観光」の分野は「観光の振興」で満足度がかなり低くなっています。



⑤「行財政マネジメント」のための基本方針

全ての基本方針の加重平均の平均値（満足度 0.16、重要度 0.77）と比較して「行財政マネジメント」のための基本方針は、満足度が低く、重要度が高くなっています。

特に「職員力の向上」では重要度は平均値を上回っているのに対し、満足度が 0.00 となっています。



(5) まちの住み心地や日常の生活行動など

①まちの住み心地など

「そう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 31.8%、次いで「買物をする環境が整っている」が 30.7%などとなっています。

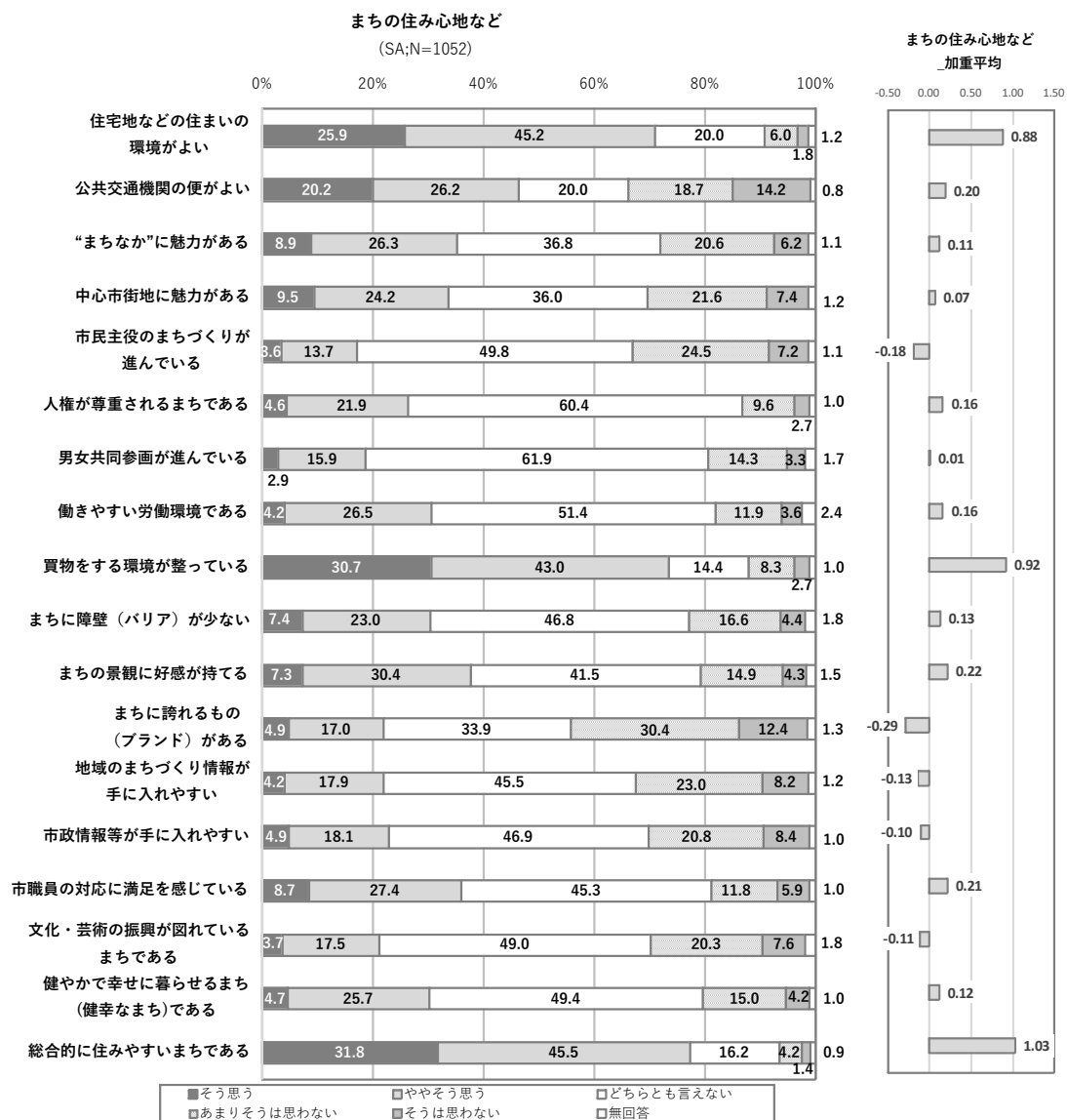
「ややそう思う」は「総合的に住みやすいまちである」が最も多く 45.5%、次いで「住宅地などの住まいの環境がよい」が 45.2%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「男女共同参画が進んでいる」が最も多く 61.9%、次いで「人権が尊重されるまちである」が 60.4%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が最も多く 30.4%、次いで「市民主役のまちづくりが進んでいる」が 24.5%などとなっています。

「そうは思わない」は「公共交通機関の便がよい」が最も多く 14.2%、次いで「まちに誇れるもの（ブランド）がある」が 12.4%などとなっています。

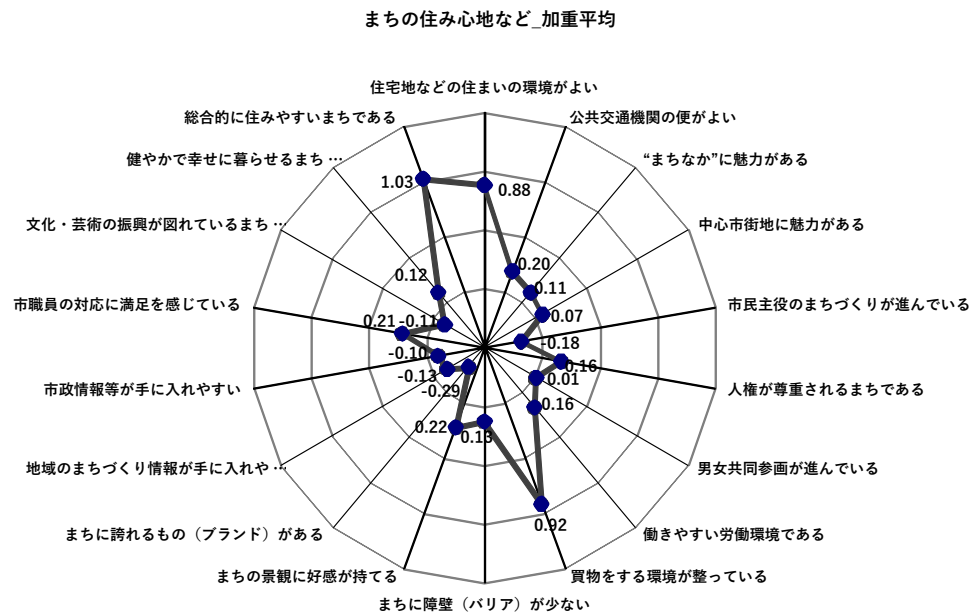
「総合的に住みやすいまちである」については、「ややそう思う」が最も多く 45.5%、次いで「そう思う」が 31.8%などとなっています。



【加重平均】

「総合的に住みやすいまちである」「買物をする環境が整っている」「住宅地などの住まいの環境がよい」において評価が高くなっています。

「まちに誇れるもの（ブランド）がある」「市民主役のまちづくりが進んでいる」「地域のまちづくり情報が手に入れやすい」においては評価が低くなっています。



加重平均について：「そう思う（2）」「ややそう思う（1）」「どちらともいえない（0）」「あまりそうは思わない（-1）」「そうは思わない（-2）」として全体の平均値を算出したものである。

②日常の生活行動など

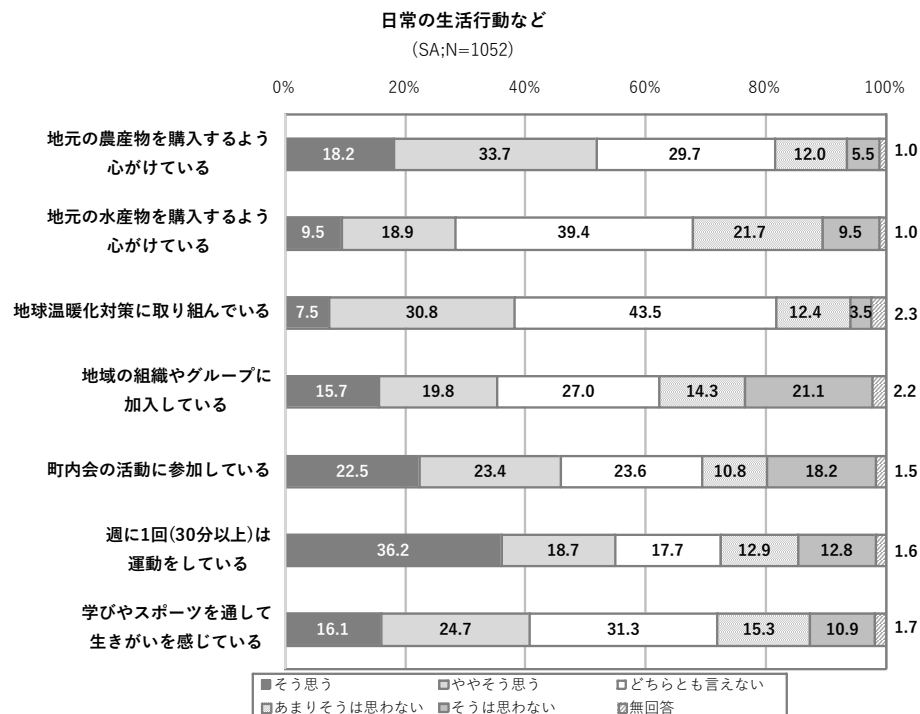
「そう思う」は「週に1回(30分以上)は運動をしている」が最も多く 36.2%、次いで「町内会の活動に参加している」が 22.5%などとなっています。

「ややそう思う」は「地元の農産物を購入するよう心がけている」が最も多く 33.7%、次いで「地球温暖化対策に取り組んでいる」が 30.8%などとなっています。

「どちらとも言えない」は「地球温暖化対策に取り組んでいる」が最も多く 43.5%、次いで「地元の水産物を購入するよう心がけている」が 39.4%などとなっています。

「あまりそうは思わない」は「地元の水産物を購入するよう心がけている」が最も多く 21.7%、次いで「学びやスポーツを通して生きがいを感じている」が 15.3%などとなっています。

「そうは思わない」は「地域の組織やグループに加入している」が最も多く 21.1%、次いで「町内会の活動に参加している」が 18.2%などとなっています。



③市民であることの誇りや定住意向

「市民であることに誇りや愛着を持っている」については、「ややそう思う」が最も多く 36.6%、次いで「どちらとも言えない」が 31.4%などとなっています。

「これからも草津市に住み続けたい」については、「そう思う」が最も多く 44.4%、次いで「ややそう思う」が 33.0%などとなっています。

